



山崎幸男議員

財政問題

新年度の予算編成方針

限られた財源の効率運用

質問 不況による税収の減少、地方交付税や国庫支出金の圧縮により財政事情は年々悪化している。

義務的経費の削減がない限り、今後の行政施策の展開に支障を来しかねない。ついては、次の点を問う。

①平成十九年度の予算編成方針と重要施策は。

②町長、助役、教育長はじめ議員報酬の削減は。

③人件費などの抑制と各種団体への補助金は。

④事務、事業の見直しは。

沼崎町長
①限られた財源の効率的運用との確な予算配分、義務的経費の圧縮・節減に

より必要な財源確保と財源不足額の縮小に努める。

重要施策は「土地区画整理事業」「公共下水道事業」「産業振興への支援」「コミュニティ施設整備事業」など。

②社会経済情勢や行財政を取り巻く環境は厳しくなっており、報酬などの見直しを「特別職報酬等審議会」へ諮問する。

③職員の定員適正化計画を確実に遂行し、補助金は、事業計画を十分吟味し抑制に努める。

④行政改革大綱の集中改革プランに基づいて見直しを進める。

地域活性化

中心市街地・商店街活性化策 商店の経営指導などを支援

質問 本町の中心市街地は、大型店舗の郊外進出などで、中心商店街の空洞化が進み、シャッター通りとなっている。人口減や高齢化社会に対応できる総合的な町づくり、地域社会の実

現のためには、中心商店街の活性化が緊急の課題と認識しているが、どのように考えているか。

沼崎町長 商工会は、この現状に危機感を持ち、地域商業者主導の「山田町市

街地活性化委員会」を立ち上げ、消費者の購買動向や事業主の意識調査を実施した。今後は、この調査を踏まえ、魅力ある中心商店街づくりの方向を定め、自らできるものを着実に推進する意向とのことである。

町では、この取り組みに必要な協力をし、商店の経営指導など商工会の事業が充実するよう引き続き支援する考えである。また、商店の経営を支援するため小口資金融資制度の充実も更に図っていきたい。

町の考えを聞く



昨年12月に行われた「市街地活性化委員会」による中心商店街空き店舗の活用事業（街角ギャラリー）